

2009. 9. 19

週刊新潮編集部 御中

## 回 答

衆議院議員 岡田 克也

### ① について

そもそも、党本部に行った事実はありません。ただし、田中均氏は小泉総理のもと日朝交渉に取り組み、その結果として小泉訪朝が実現し、日朝平壤宣言が繋がったことは、評価されるべきだと思います。

### ② について

厳しい状況にある拉致被害者の皆さんのお気持ちは大切です。しかし、言論の自由が保障されている日本において、「田中氏の実績を評価する」と発言することまでもが制約されるべきではないと考えています。

### ③ について

9月17日の私の会見は、「拉致問題の解決なくして北朝鮮との国交正常化はない」というものです。田中氏の実績を評価することが、上記発言と矛盾するとは考えていません。

なお、田中氏が「被害者を北朝鮮に帰せ」と主張したかどうか、私は事実関係を承知していません。

### ④ について

① に述べたとおりです。

以 上